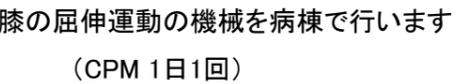


人工膝関節全置換術の手術を受ける患者様へ(入院時にこの用紙をご持参下さい)

日付	/	/	/	/	/	/
	入院から手術前々日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2日目
治療	 必要時、医師の診察があります	 採血があります	 術衣に着替え、午前中から点滴を病棟で行います。手術が1番目の方は手術室で点滴を行います。	 手術後から翌朝まで点滴を行います	 朝と夕に抗生剤・鎮痛剤の点滴を術後2日目まで続けます 必要に応じてガーゼの交換を行います	 ※血液の管は抜けません(術後1日目)  排泄の量により血液の管が抜けます(術後2日目)
	 必要時、心臓血管外科に診察してもらうことがあります					
処置	 お薬とお薬手帳をお持ち下さい	※手術までに用意して頂くもの  ①浴衣または前開きの寝巻  ②ストロー付きのコップ(コップとストロー)  ③バスタオル  ④フェイスタオル  ⑤ティッシュペーパー ①③④はレンタル病衣で対応できます	 必要時手術部位の除毛を行います	 ※あると便利です ・柄つきブラシ ・マジックハンド 	 ※自己血または輸血をします。輸血量や期間は患者により異なります。手術当日～術後1日目までに実施します。	 膝の屈伸運動の機械を病棟で行います (CPM 1日1回) 
	 身長と体重を測ります 1ヶ月以上撮影していない時はエックス線撮影をします					
検査	 身長と体重を測ります 1ヶ月以上撮影していない時はエックス線撮影をします	 身長と体重を測ります 1ヶ月以上撮影していない時はエックス線撮影をします	 手術室でX線・採血を行います	 手術室でX線・採血を行います	 手術翌日より定時の鎮痛剤・胃薬を飲み始めます(1週間)	
活動	 病院内でお過ごしください。外出には医師の許可が必要です	 病棟内でお過ごしください	 病棟内でお過ごしください	 看護師の介助で身体の向きを変えたり起こしたりできます。	 尿管や血液の管があるため移動の際は看護師がお手伝いします 車椅子に乗れます。	 尿管や血液の管があるため移動の際は看護師がお手伝いします 車椅子に乗れます。
	 理学療法士					
食事	 食事制限など特別な指示がなければ食事に制限はありません	 食事制限など特別な指示がなければ食事に制限はありません	 食事制限など特別な指示がなければ食事に制限はありません	 食事制限など特別な指示がなければ食事に制限はありません	 食事制限など特別な指示がなければ食事に制限はありません	 食事制限など特別な指示がなければ食事に制限はありません
	 食事制限など特別な指示がなければ食事に制限はありません					
清潔	 シャワー浴できます	 シャワー浴できます	 シャワー浴できます	 シャワー浴できます	 シャワー浴できます	 シャワー浴できます
	 シャワー浴できます					
排泄	 病室のトイレをお使い下さい	 病室のトイレをお使い下さい	 病室のトイレをお使い下さい	 病室のトイレをお使い下さい	 病室のトイレをお使い下さい	 病室のトイレをお使い下さい
	 病室のトイレをお使い下さい					
説明・指導	 病棟の説明やパスの説明など看護師より入院生活について説明します	 ※事前に外来で説明を受けた方は説明はありません 麻酔科医・手術室看護師が説明にきます		 手術後、医師から家族に説明があります	 下肢静脈血栓予防のため指示された抗凝固剤を内服または注射で投与します 必要時、心臓血管外科に診察してもらいます	 下肢静脈血栓予防のため指示された抗凝固剤を内服または注射で投与します 必要時、心臓血管外科に診察してもらいます
	 病棟の説明やパスの説明など看護師より入院生活について説明します					
その他	 リハビリ転院などの希望の方は主治医・看護師へご相談下さい	 手術同意書をお出してください				
	 リハビリ転院などの希望の方は主治医・看護師へご相談下さい					

注) 病名・診療内容および入院期間については現時点で考えられるものであり、状況に応じて予定が変更になることがあります。ご不明な点がございましたらお尋ねください。

作成日: 2013年7月13日

改訂日: 2017年6月25日

横浜南共済病院

人工膝関節全置換術の手術を受ける患者様へ(入院時にこの用紙をご持参下さい)

日付経過	/	/	/	/	/
	術後3日目	術後5日目	術後7日目	術後8～14日目	術後15日目～
治療	 必要に応じてガーゼの交換を行います  排液量に関わらず血液の管が抜きます	 	週2回(月・木)、必要時は傷のチェックをします ガーゼやテープを貼ります ※アクアセル(膝の創部に貼ってある大きなテープ)は 術後10日目に剥がします 抜糸はありません		
処置			  X線・採血を週1回行います	  X線・採血を術後14日目行います	
検査	鎮痛剤・胃薬を飲み始めます(1週間)  痛みに合わせて鎮痛剤・胃薬は継続します		膝の屈伸運動の機械を病棟で行います (CPM 1日1回) 		
活動	 車椅子に乗れます。	 痛みの状況に合わせて安静度を上げていきます	 階段昇降など退院後の生活に合わせた練習をします		
	 状態により訓練室でリハビリを行います。リハビリは患者様の回復に合わせて拡大していきます				
食事	 食事形態は食事摂取の状況で変更していきます				退院日の食事は 朝までです
清潔	 血液の管が抜けて熱がなければ、翌日からシャワー浴が可能です				
排泄	 歩行・車椅子乗車可能ならトイレで排泄できます				
説明・指導	  下肢静脈血栓予防のため指示された 抗凝固剤を内服または注射で投与します 必要時、心臓血管外科に診察してもらいます				 退院後の生活について説明します
その他	下肢静脈血栓予防のため退院まで弾性ストッキングを着用していただきます 術後1日目～術後3日まで夜間のみつけます。 (状況によりフットポンプを早めに外すこともあります)				 退院までにお会計をしていただきます

注) 病名・診療内容および入院期間については現時点で考えられるものであり、状況に応じて予定が変更になることがあります。ご不明な点がございましたらお尋ねください。

作成日: 2013年7月13日

改訂日: 2017年6月25日

横浜南共済病院